

平成 29 年度 技術職員・技術支援者 研修会 in 室蘭工業大学 開催報告

テーマ

- ① 増加傾向にある企業が大学共用装置を利用する場合の対応
- ② 災害・故障時等の設備安全対策とセーフティネットとしての大学 NW の活用
- ③ 他大学の設備 NW 登録装置の見学・意見交換。

【開催日】	: 平成 29 年 10 月 19 日 14:00~18:00
【開催場所】	: 講演: 室蘭工業大学 教育・研究 4・5 号館 H・U 棟 H320 会議室 見学: NMR 実験施設、室蘭工業大学機器センター (〒050-8585 北海道室蘭市水元町 27-1)
【主催】	: 分子科学研究所 (大学連携研究設備ネットワーク)
【講師】	: (株)機能性植物研究所 樋口央紀・代表取締役 熊本大学・発生医学研究所リエゾンラボ研究施設 関丘・副施設長
【参加者】	: 20 名 (全国国立大学・高専の技術スタッフ)
【プログラム】	:
14:00~14:15	挨拶・大学連携研究設備 NW の紹介
14:15~14:45	講演 1 ベンチャー企業ユーザーの視点から大学共用設備利用に望むこと (株)機能性植物研究所 樋口央紀・代表取締役
14:45~15:15	意見交換
15:15~15:30	休憩
15:30~16:00	講演 2 熊本地震での被災・復旧・安全対策とセーフティネットとしての大学共用ネットワーク 熊本大学・発生医学研究所 リエゾンラボ研究施設 関丘・副施設長/技術専門員
16:00~16:30	意見交換
16:45~18:00	見学会 室蘭工大設備 NW 装置 (NMR) 室蘭工業大学機器センター
18:00	終了



【報告】

大学連携研究設備ネットワークでは、大学設備の共用を促進するために、現場で支援している技術職員・支援員向けにハード・ソフト両面でニーズに合わせた研修会を企画・実施している。今回は技術職員同士の交流が少ない遠隔地域大学での関係技術職員との交流促進や啓発活動、従来アンケートで要望があったテーマに基づく講演、大学設備 NW 登録装置見学会を組み合わせてた研修会を行った。広報、自大学の共用装置運営、人的ネットワーク作りを生かしてもらう事で設備共用を活性化する事をねらいとした。

冒頭、事務局から大学連携研究設備 NW と今年度試行的に開始している人材育成交流支援事業（高度技術を有する技術職員を分子研究が旅費を支援してニーズのある他大学に派遣し、訪問大学技術職員をマンツーマンに近い形で指導する仕組み）の説明を行った。

講演1では、大学の共用装置を数多く利用しているベンチャー企業社長を講師に迎え、利用者視点から大学共用設備運用に望む事を主題にご講演をいただいた。参加者側からは分析目的と設備のマッチングがうまくいったか、たらいまわしなるなどうまくいかなかった例などについて質問が集中し、ユーザーと教員・技術職員の間にとって、言葉の翻訳や調整できるサポート人材がいる場合は非常にスムーズに利用ができた事などが紹介された。また、どのような情報を見て大学の設備を選んだかについての質問では HP 経由がメインとの話で、検索性や載せる情報の工夫の必要性やベンチャー支援施設等ニーズがありそうな施設への積極的な広報が必要等多くの助言をいただいた。その他、取得したデータの取り扱い方法、利用料金の算出方法、共同研究契約の必要性等をテーマに、各大学の状況について情報交換を行った。

講演2では、実際に熊本地震で被災され装置がしばらく使用できなくなったベテラン技術職員を講師に迎え、実体験に基づいたご講演をいただいた。参加者からは震災経験からくる平時の具体的な装置固定に関する安全対策や、震災時装置が破損した場合に修理するか新規購入かの線引きに関する考え方、装置が使えない状態で研究者はどうしていたか等の質問をいただいた。その中で、他大学のからの生物系実験材料の提供や装置共用支援に非常に助けられたとのお話があり、ネットワークの重要性をお話いただいた。また、震災直後の研究者は、復旧対応に精一杯で、共用といえども、なかなか外に実験に行く時間を取れない実情のお話があり、設備 NW で考えれば、依頼測定の情報により周知できれば助けになるのではないかとのお話をいただいた。

最後に、全員で室蘭工業大学の大学連携設備 NW に登録している NMR 設備及び同大機器センターの見学会を行い、技術支援者同士で、室蘭工業大学はじめ各大学の共用装置の運営方法等について現場をみながら意見交換を行った。特に装置共用をスタートしたばかりの大学参加者から非常に参加になったとの意見をいただいた。

なお、本会開催にあたり、設備 NW 室蘭工業大学代表委員の中野英之教授や技術職員の宮本政明様はじめ多くの室蘭工業大学機器センター関係者の皆様のご協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

以上

